

令和 4 年 度

編入学者募集要項

入 学 案 内



推 薦 選 抜 及び 社会人特別選抜	願書受付期間	令和 3 年 8 月 2 4 日 (火) ~ 8 月 2 7 日 (金)
	試 験 日	令和 3 年 1 0 月 1 日 (金)
	合 格 発 表 日	令和 3 年 1 0 月 1 5 日 (金)

独立行政法人国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Hachinohe College

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平 16 番地 1

TEL(0178)27-7233

FAX(0178)27-9487

ホームページ <https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

メールアドレス nyushi-o@hachinohe-ct.ac.jp

目 次

○ 八戸高専とは	1
○ 編入学者募集要項	
I. 選抜の方法	
A. 高等学校長の推薦による選抜	
1. 編入学を実施するコース、募集人員及び編入学年次	2
2. 出 願 資 格	2
3. 志 望 コ ー ス	2
4. 出 願 手 続	3
5. 選 抜 方 法	4
6. 合格者の発表	4
7. 入学確約書の提出	5
B. 社会人特別選抜	
1. 編入学を実施するコース、募集人員及び編入学年次	5
2. 出 願 資 格	5
3. 出 願 手 続	5
4. 選 抜 方 法	6
5. 合格者の発表	7
6. 入学確約書の提出	7
II. 受験及び入学後に配慮を必要とする者等の事前連絡	7
III. 個人情報の取り扱いについて	7
IV. 入学手続等	7
V. 入学案内	
1. 編入学時に要する費用	8
2. 入学料・授業料及び寄宿料免除制度	8
3. 高等教育の修学支援新制度	8
4. 奨学金制度	9
VI. 学力試験（口頭試問）・面接（口頭試問）の出題範囲	10
○ ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー	12
○ 試験場案内図	13

八 戸 高 専 と は

本校は、社会の多様な要請に応えるため、独自の教育目的を掲げ、創造力と開発能力を有する実践的技術者の育成に努めています。この実現のため本科1学科4コース・専攻科1専攻4コースを設置し、具体的に設定したディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）の達成を目指して教育活動を展開し、自己点検し、教育改善を進めています。

教育方針

豊かな教養の基盤の上に得意とする工学専門分野の知識と技術を身につけ、個人の自由と責任を自覚して規律を遵守し、自ら課題を発見しその解決に向けて自ら学ぶ姿勢を持ち、人類福祉の増進と社会の進展に積極的に貢献する創造力豊かな技術者を養成することを教育理念としています。

準学士課程は、教育基本法及び学校教育法に基づき、教養と工学専門分野の知識・技術を身につけるとともに、自ら課題を発見しその解決に向けて自ら学ぶ姿勢を持ち、産業界のニーズに応えられる実践的・創造的技術者を育成することを目的とします。

この目的を達成するため、「誠実・進取・協調」の校訓にのっとり、自立的な人材の育成に主眼をおきながら、ものづくり・システムづくりの専門技術教育を推進します。

○ 養成しようとする技術者像

本校が、養成しようと考えている技術者像は、「多角的視野を持ちつつ、実験・測定技術、数理的手法および情報処理技術を基盤に、得意とする専門技術分野の基本的素養を持った、『ものづくり』や『システムづくり』に強い実践的・創造的な技術者」です。

○ ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー（後述、12頁参照）

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

1. 求める学生像

○編入学

- AP 1. 他人への思いやりができ、誠実で責任ある行動がとれる人
- AP 2. 高等学校において、工業の基礎的な知識を身につけ、主体的に学習する意欲がある人
- AP 3. 「ものづくり」や「科学・技術」に興味をもち、知的探究心をもって思考しようとする人
- AP 4. チームで協力し、技術を通して社会に貢献する熱意がある人
- AP 5. 多様な人々と積極的に対話し、自分の意見や考えを表現できる人

2. 入学者選抜の基本方針

次の二つの方法で選抜します。

(1) 推薦選抜

編入学を希望するコースの学習に必要な基礎学力を身につけ、意欲及び適性のある人を、一般面接、口頭試問（数学、英語、専門）及び調査書の総合評価によって選抜します。

(2) 社会人特別選抜

編入学を希望するコースの学習に必要な基礎学力を身につけ、意欲及び適性のある人を、推薦書、志望理由書、業務内容調書、調査書、小論文及び面接（専門科目に関する口頭試問含む）の総合評価によって選抜します。

令和４年度編入学者募集要項

Ⅰ．選抜の方法

編入学者の選抜は、高等学校長からの推薦によるものと、社会人特別選抜によるものの二つの方法で行います。

A．高等学校長からの推薦による選抜

１．編入学を実施するコース、募集人員及び編入学年次

コ　　ー　　ス	募集人員	編入学年次
機械システムデザインコース	若　干　名	第４学年
電気情報工学コース	若　干　名	第４学年
マテリアル・バイオ工学コース	若　干　名	第４学年
環境都市・建築デザインコース	若　干　名	第４学年

２．出　願　資　格

次に掲げる者で、在籍（出身）高等学校長が推薦する者とする。

- (1) 工業高等学校を卒業した者又は令和４年３月卒業見込みの者
- (2) 高等学校の工業等に関する学科を卒業した者又は令和４年３月卒業見込みの者
- (3) 総合高等学校を卒業した者又は令和４年３月卒業見込みの者で、電気情報工学コース、環境都市・建築デザインコースを志望する者。ただし、関係専門科目を修得した者又は修得見込みの者

３．志　望　コ　ー　ス

前項に該当する志望コースは、次のとおりとする。

出願者の在籍している科又は卒業した科 (同系統の科を含む)	出願者の志望できるコース
機械科、電子機械科、材料技術科	機械システムデザインコース
(A) 電気科、電子科、電子機械科、情報技術科 (B) 総合高等学校で関係専門科目を修得した者 又は修得見込みの者。 (C) 電気、電子、電子機械、情報技術関連分野の学科	電　気　情　報　工　学　コ　ー　ス
工業化学科、化学工学科	マテリアル・バイオ工学コース (マテリアル工学履修コース)
(A) 土木科、建築科 (B) 総合高等学校で関係専門科目を修得した者 又は修得見込みの者。 (C) 土木建築分野の学科	環境都市・建築デザインコース

(注) 環境都市・建築デザインコースにおいては、高等学校等における科目履修状況により、本校卒業後に取得できる資格に適合しない場合があります。また、建築デザイン履修コースへ編入学した者は、本科卒業後、さらに専攻科へ進学し学位申請する際、専門科目が不足し学位（学士）の申請ができない可能性があります。

4. 出 願 手 続

(1) 願書受付

- ① 期 間 令和3年8月24日(火)から8月27日(金)まで
郵送の場合も、期間内必着とします。
(注) 郵送の場合は、必ず**速達書留**とし封筒の表に「**編入学願書在中**」と朱書してください。
- ② 時 間 午前9時から午後4時まで
- ③ 場 所 八戸工業高等専門学校 学生課入試・キャリア支援係
〒039-1192 八戸市大字田面木字上野平 16 番地 1
TEL (0178) 27-7233

(2) 出願書類等

編入学志願者は、次の書類等を完備のうえ、一括して在籍（出身）高等学校長を経由して、本校学生課入試・キャリア支援係に提出してください。

①編入学願書・ 写真票・受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。 なお、写真票に貼付する写真は、令和3年7月以降に撮影した正面向き、上半身、脱帽の縦6 cm×横4.5 cmの大きさのもの。
②推薦書	本校所定の用紙を使用し、在籍(出身)高等学校長が記入したもの。
③調査書	在籍（出身）高等学校長が証明し、厳封したもの。 5(2)により、「英語」の口頭試問の免除を希望する場合は、該当する資格等を証明できる書類のコピーを添付してください。
④卒業見込証明書 又は卒業証明書	在籍（出身）高等学校長が証明したもの。
⑤受験票等送付用 封筒	長形3号封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手404円分（簡易書留料含む）の切手を貼ってください。
⑥検定料	16,500円（納入期間：令和3年8月16日(月)～令和3年8月27日(金)） 本校所定の「入学検定料振込依頼書」により銀行等に振込み、銀行等から受け取った「入学検定料領収書・受付証明書」を「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に貼り付けて提出すること。
⑦受験承諾書	既に就職している者又は大学に在籍中の者については、その所属長の「受験承諾書」を本校校長宛に提出してください。様式は任意です。
⑧登録済証明書	外国人は、出願に際し市区町村長が発行する「外国人登録済証明書」を提出又は「在留カード」を呈示してください。

(注1) ③と④の書類については、在籍（出身）高等学校所定の用紙を使用してください。

(注2) 受験票が9月7日(火)までに届かない場合は、本校学生課入試・キャリア支援係へ問い合わせてください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 受験上及び修学上特に配慮する必要がある場合については、7頁Ⅱ.を参照してください。

5. 選 抜 方 法

編入学者の選抜は、一般面接、学力試験（口頭試問）及び在籍（出身）高等学校からの調査書の総合判定により行います。

- (1) 一般面接では、志望動機、その他必要な事項について面接を行います。
- (2) 学力試験では、(4)の表に示す科目に関する口頭試問を行います。ただし、「英語」については次のいずれかの場合には試験を免除しますので、該当する資格等を証明できる書類のコピーを添付してください。
①実用英検 準2級以上 ②TOE I C (L&R Test) 400 点以上 ③工業英検 3 級以上
- (3) 試験時間は、一般面接、学力試験合わせて 40 分程度とします。
 - ・一般面接：10 分
 - ・口頭試問：30 分（英語、数学、専門）

※国際科学技術コンテストなどに応募し入賞歴がある者については考慮します。
- (4) 学力試験（口頭試問）の科目は次のとおりです。

志望コース	一般科目	専門科目	備考
機械システムデザインコース	英 語 数 学	(A) 物理基礎・物理・機械設計・機械工作	機械科・電子機械科に在籍する者（または卒業生）
		(B) 物理基礎・物理・工業材料・材料加工	材料技術科に在籍する者（または卒業生）
電気情報工学コース		(A) 電気基礎：電気基礎の中で、各種の波形、三相交流を含む。	いずれか選択すること。 (A)を選択した場合には「電気電子システム履修コース」に、(B)を選択した場合には、「知能情報システム履修コース」に配属されます。
		(B) 電気基礎：電気基礎の中で、各種の波形、三相交流を除く。情報技術	
マテリアル・バイオ工学コース		工業科学・化学工学	
環境都市・建築デザインコース		(A) 土木基礎力学 (土木構造力学、水理学、土質力学)	いずれか選択すること。 (A)を選択した場合には「環境都市デザイン履修コース」に、(B)を選択した場合には、「建築デザイン履修コース」に配属されます
		(B) 建築計画 建築構造設計	

(注) 学力試験の出題範囲は、別表 1（10 頁）のとおりです。

- (5) 試験日程 令和 3 年 10 月 1 日(金)
13 時試験方法説明
13 時 10 分試験開始
(注) 12 時 50 分までに本校の指定する場所に集合してください。
- (6) 試験会場 八戸工業高等専門学校

6. 合格者の発表

- (1) 発表日時 令和 3 年 10 月 15 日(金) 午後 3 時
- (2) 発表方法 合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、在籍（出身）高等学校長宛に郵送します。また、午後 3 時以降に本校のホームページ(<https://www.hachinohe-ct.ac.jp>)に合格者の受験番号を掲載します。
なお、電話等による可否の問い合わせには応じられません。

7. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和3年11月26日(金)午後5時必着で八戸工業高等専門学校学生課入試・キャリア支援係へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

B. 社会人特別選抜

1. 編入学を実施するコース、募集人員及び編入学年次

コース	履修コース	募集人員	編入学年次
機械システムデザインコース	機械・エネルギーシステム履修コース	若干名	第4学年
	知能機械システム履修コース		
電気情報工学コース	電気電子システム履修コース	若干名	第4学年
	知能情報システム履修コース		
マテリアル・バイオ工学コース	マテリアル工学履修コース	若干名	第4学年
環境都市・建築デザインコース	環境都市デザイン履修コース	若干名	第4学年
	建築デザイン履修コース		

(注) 環境都市・建築デザインコースにおいては、高等学校等における科目履修状況により、本校卒業後に取得できる資格に適合しない場合があります。また、建築デザイン履修コースへ編入学した者は、本科卒業後、さらに専攻科へ進学し学位申請する際、専門科目が不足し学位(学士)の申請ができない可能性があります。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、技術分野の業務に2年以上従事している者(令和4年3月末で2年以上となる者を含む。)で、卒業後、在職する企業に戻ることを前提とし、勤務先の所属長が推薦する者。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者

3. 出願手続

(1) 願書受付

① 期間

令和3年8月24日(火)から8月27日(金)まで

郵送の場合も、期間内必着とします。

(注) 郵送の場合は、必ず速達書留とし封筒の表に「編入学願書在中」と朱書してください。

② 時間

午前9時から午後4時まで

③ 場所

八戸工業高等専門学校 学生課入試・キャリア支援係

〒039-1192 八戸市大字田面木字上野平16番地1

TEL (0178) 27-7233

(2) 出願書類等

①編入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
②写真票・受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。 なお、写真票に貼付する写真は、令和3年7月以降に撮影した正面向き、上半身、脱帽の縦6 cm×横4.5 cmの大きさのもの。
③推薦書	本校所定の用紙に勤務先の所属長が作成したもの。
④志望理由書	本校所定の用紙に記入してください。
⑤業務内容調書	本校所定の用紙に業務内容の概要を記入してください。
⑥調査書	出身学校所定の用紙に学校長が証明し、厳封したもの。
⑦卒業証明書	出身学校所定の用紙に学校長が証明したもの。
⑧在職証明書	様式任意。ただし、在職期間が記入されていることが必要です。
⑨受験票等送付用封筒	長形3号封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し、郵便切手404円分（簡易書留料含む）の切手を貼ってください。
⑩検定料	16,500円（納入期間：令和3年8月16日(月)～令和3年8月27日(金)） 本校所定の「入学検定料振込依頼書」により銀行等に振込み、銀行等から受け取った「入学検定料領収書・受付証明書」を「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に貼り付けて提出すること。
⑪登録済証明書	外国人は、出願に際し市区町村長が発行する「外国人登録済証明書」を提出又は「在留カード」を呈示してください。

(注) 受験票が9月7日(火)までに届かない場合は、本校学生課入試・キャリア支援係へ問い合わせてください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 受験上及び修学上特に配慮する必要がある場合については、7頁Ⅱ.を参照してください。

4. 選 抜 方 法

編入学者の選抜は、推薦書、志望理由書、業務内容調書、調査書、小論文及び面接（専門科目に関する口頭試問含む）の結果に基づいて総合的に判定します。

(1) 試験日程

期 日	時 間	
令和3年10月1日(金)	10:00～11:00	11:30～
	小論文	面接

(2) 試験会場 八戸工業高等専門学校

受験者は9時30分までに、本校の指定する場所に集合してください。

(3) 面接（口頭試問）の科目と出題範囲は別表2（11頁）のとおりです。

5. 合格者の発表

- (1) 発表日時 令和3年10月15日(金) 午後3時
- (2) 発表方法 合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、受験者宛に結果を郵送します。
また、午後3時以降に本校のホームページ(<https://www.hachinohe-ct.ac.jp>)
に合格者の受験番号を掲載します。
なお、電話等による可否の問い合わせには応じられません。

6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和3年11月26日(金)午後5時必着で八戸工業高等専門学校学生課入試・キャリア支援係へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

II. 受験及び入学後に配慮を必要とする者等の事前連絡

難聴者、弱視者、その他身体の不自由な者等で、受験上及び修学上特に配慮する必要がある者については、あらかじめ本校学生課入試・キャリア支援係に直接その事情を連絡し、別に、次の事項を記入した「身体等の状況の記録」を作成し、医療機関が発行した健康診断書など、「身体等の状況の記録」に記載した内容を証明する書類を添付して提出すること。

- (1) できるだけ詳細な身体等の状況
- (2) 受験に当たって配慮してほしい措置
- (3) 入学後、本校において特に配慮する必要がある措置又は指導上留意すべき事項

提出の時期 令和3年8月16日(月)まで

連 絡 先 八戸工業高等専門学校 学生課入試・キャリア支援係 TEL (0178) 27-7233

III. 個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった、入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

IV. 入学手続等

入学手続等については、「合格通知」と一緒に通知します。

V. 入学案内

1. 編入学時に要する費用

- | | |
|-------------|--------------------------|
| (1) 入学料 | 84,600円 |
| (2) 授業料前期分 | 117,300円（年額234,600円） |
| (3) 教科書 | 約 55,000円（コースにより多少違います。） |
| (4) 作業衣、作業帽 | 約 10,000円（希望者のみ） |
| (5) 学生会費他 | 約 40,000円 |

※上記の額は改定される場合があります。

2. 入学料・授業料及び寄宿料免除制度

- (1) 編入学前1年以内において、学資負担者が死亡又は風水害等の被災により、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ入学料を免除（全額又は半額）する制度があります。但し、倒産・リストラ等による場合は認められません。

また、経済的理由で入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、入学料の徴収を一時的に猶予する制度もあります。

- (2) 経済的理由又は風水害等の災害により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業・人物共に優秀と認められる場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料を免除（全額又は半額）する制度があります。
- (3) 学生又は学資負担者が風水害等の災害を受け、寄宿料の納付が困難であると認められる場合は、寄宿料を免除する制度があります。

3. 高等教育の修学支援新制度

令和2年4月から実施された高等教育の修学支援新制度の本校も対象となっております。

学ぶ意欲がある学生で、家計の収入等の要件を満たす場合には、支援区分に応じて、入学料及び授業料の減免と給付奨学金による経済的支援を受けることができます。

ただし、高等学校等を始めて卒業した年度の翌年度の末日から、高専に入学した日までの期間が2年を経過していないことも要件となっております。

制度の詳細に関しましては、文部科学省HPをご確認ください。

4. 奨学金制度

(1) 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構の奨学金は、経済理由により修学が困難である優れた学生等に対し貸与又は給付されます。ただし、給付型奨学金については、高等学校等を初めて卒業した年度の翌年度の末日から、高専に入学した日までの期間が2年を経過していないこと等が要件となっております。

詳細については、日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

【貸与月額】（令和3年度現在）

種類 貸与月額		第一種奨学金（無利子）		第二種奨学金（有利子）
		自宅通学	自宅外通学	自宅・自宅外通学共通
本科生	4年	45,000円 30,000円	51,000円	20,000円から120,000円 のうち1万円単位で選択
	5年		40,000円	
専攻科生	1年	20,000円	30,000円	
	2年		20,000円	

※複数の金額が設定されている場合は、いずれかを選択できます。自宅外通学の場合は、自宅通学の月額も選択できます。

※本科4、5年生及び専攻科生においては、申込時の家計収入が一定額以上の場合は、各区分の最高月額以外の月額から選択することになります。

【給付月額】（令和3年度現在）

区分	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	17,500円 (25,800円)	34,200円
第Ⅱ区分	11,700円 (17,200円)	22,800円
第Ⅲ区分	5,900円 (8,600円)	11,400円

※生活保護世帯（受けている扶助の種類を問いません）で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人等は、上表のカッコ内の金額となります。

(2) 八戸工業高等専門学校奨学金

本校では、経済的理由により就学困難であって、人物に優れ、学業に精励している学生に、奨学金として250,000円（特別奨学生は300,000円）までを給付する制度があります。

(3) その他の奨学制度

八戸市、青森市等の地方公共団体、各種民間団体、あしなが育英会、交通遺児育英会等の奨学制度があります。

別 表 1

学力試験（口頭試問）の出題範囲【高等学校長からの推薦による選抜】

コース	科 目		出 題 範 囲
各コース 共 通 (一般科目)	※	英 語	1. 総合英語 2. 異文化理解 (注) 英語のみを用いた試験です。
		数 学	1. 数学Ⅰ (1)数と式 (2)2次関数 (3)図形と計量 2. 数学A (1)場合の数と確率 (2)整数の性質 (3)図形の性質 3. 数学Ⅱ (1)いろいろな式 (2)図形と方程式 (3)三角関数 (4)指数関数と対数関数 (5)微分と積分
機械システム デザインコース	共通	物理基礎	1. 物体の運動とエネルギー
		物理	1. 様々な運動 (力と運動)
	(A)	機械設計	1. 機械に働く力 2. 材料の強さ 3. 機械要素と装置(伝達装置)
		機械工作	1. 機械材料 2. 各種の工作法
	(B)	工業材料	1. 工業材料の性質と構造 2. 工業材料の検査 3. 工業材料の製造
		材料加工	1. 工業材料の加工
電気情報工学 コース	(A)	電気基礎	1. 直流回路 2. 磁気と静電気 3. 交流回路 4. 電気計測 5. 各種の波形 6. 三相交流
	(B)	電気基礎・ 情報技術	1. 直流回路 2. 磁気と静電気 3. 交流回路 4. 電気計測 5. 情報技術
マテリアル・ バイオ工学コ ース	工業化学		1. 物質と化学 2. 気体と水の化学 3. 元素の性質と化学結合 4. 物質の変化とエネルギー 5. 石油と化学
	化学工学		1. 物質とエネルギーの収支 2. 単位操作(流体の輸送)
環境都市・建 築デザインコ ース	(A)	土木基礎力学	1. 土木構造力学 (1)土木構造物と力 (2)静定構造物の計算 (3)材料の強さと部材の設計 2. 水理学 (1)静水の性質 (2)水の流れの性質と測定 (3)水路の計算 (4)流れと波の力 3. 土質力学 (1)土の基本的性質と調査及び試験 (2)土中の水の流れ (3)地中応力と土の圧密 (4)土の強さ (5)土圧
	(B)	建 築 計 画 建築構造設計	1. 建築計画 (1)建築の歴史 (2)建築と環境 (3)建築の設備 (4)建築物の計画 (5)都市計画 2. 建築構造設計 (1)構造物に働く力 (2)静定構造物 (3)部材に関する力学 (4)不静定構造物 (5)各種構造物の設計 (6)建築物の耐震設計

※英語については、次のいずれかの条件を満たす場合、学力試験は免除となります。

①実用英語検定 準2級以上 ②TOE I C (L&R Test) 400 点以上 ③工業英語検定 3 級以上

別 表 2

面接（口頭試問）の科目と出題範囲【社会人特別選抜】

志望コース	科目		出題範囲	備考
機械システム デザインコース	工業材料		金属及び合金の結晶構造、平衡状態図、金属材料の機械的性質とその試験法、鋼の熱処理	
	機械設計		材料の強さ（引張・圧縮を受ける部材の強さ、せん断・ねじりを受ける部材の強さ）	
	物理基礎・物理		物理基礎 1. 物体の運動とエネルギー 物 理 1. 様々な運動（力と運動）	
	機械工作・材料加工		機械工作 2. 各種工作法 材料加工 1. 工業材料の加工	
電気情報工学 コース	電 気 基 礎		1. 直流回路 2. 磁気と静電気 3. 交流回路 4. 電気計測 5. 各種の波形 6. 三相交流	
	電 気 基 礎 ・ 情 報 技 術		1. 直流回路 2. 磁気と静電気 3. 交流回路 4. 電気計測 5. 情報技術	
マテリアル・ バイオ工学コース	工業化学		1. 物質と化学 2. 気体と水の化学 3. 元素の性質と化学結合 4. 物質の変化とエネルギー 5. 石油と化学	
	化学工学		1. 物質とエネルギーの収支 2. 単位操作(流体の輸送)	
環境都市・建 築デザインコース	(A)	土木基礎力学	1. 土木構造力学 (1)土木構造物と力 (2)静定構造物の計算 (3)材料の強さと部材の設計 2. 水理学 (1)静水の性質 (2)水の流れの性質と測定 (3)水路の計算 (4)流れと波の力 3. 土質力学 (1)土の基本的性質と調査及び試験 (2)土中の水の流れ (3)地中応力と土の圧密 (4)土の強さ (5)土圧	いずれか選択すること。 (A)を選択した場合には「環境都市デザイン履修コース」に、(B)を選択した場合には、「建築デザイン履修コース」に配属されます。
	(B)	建 築 計 画 建築構造設計	1. 建築計画 (1)建築の歴史 (2)建築と環境 (3)建築の設備 (4)建築物の計画 (5)都市計画 2. 建築構造設計 (1)構造物に働く力 (2)静定構造物 (3)部材に関する力学 (4)不静定構造物 (5)各種構造物の設計 (6)建築物の耐震設計	

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー】（卒業認定方針）

本校では、以下に示す能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。

DP 1. 豊かな人間性の涵養

豊かな教養と幅広い視野を備え、地球環境や人類社会における科学・技術の重要性を理解できる。

DP 2. 数学・自然科学・情報処理知識の修得

数学、自然科学の基礎知識、及び応用数学、応用物理、情報処理に関する知識を身につけ、それらを問題解決に応用できる。

DP 3. 専門知識の修得

得意とする専門分野の知識と技術、及び他の専門分野の基礎知識を身につけ、課題解決に応用できる。

DP 4. 課題発見力・探究心と協働性

自ら課題を発見して探究する姿勢を持ち、協調性を発揮してチームの一員として仕事に取り組むことができる。

DP 5. 地域社会への貢献

地域の課題に関心を持ち、その解決に貢献しようとする姿勢を持つ。

DP 6. 異文化理解とコミュニケーション能力

異文化を理解する姿勢を持ち、討議・発表力と英語基礎力を身につけて研究発表等で活用できる。

【カリキュラム・ポリシー】（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーに掲げた人材を育成するため、一般科目の学修と連携しつつ低学年から専門科目を少しずつ配置する「くさび型教育」の特長を活かし、知識と技術を体験的に身につけられるカリキュラムを編成します。学修の成果は、試験や課題レポートなど、各科目のシラバスに記載された評価方法により評価します。具体的なカリキュラム編成方針は以下のとおりです。

CP 1. 技術者として必要な教養と幅広い視野を身につけるため、国語、数学、英語、理科、社会、体育、芸術などの科目を、低学年を中心に開講する。

CP 2. 専門科目の基礎となる数学、自然科学の基礎知識を身につけるため、応用数学、応用物理、情報処理に関する科目を開講する。

CP 3. 得意とする専門分野の知識と技術を身につけるため、専門基礎及び応用科目の講義と、実験、実習などの体験的授業を有機的に組み合わせたカリキュラムを編成する。さらに、それらを課題解決に応用する能力を育成するため、高学年において創成科目や卒業研究を開講する。

CP 4. 自ら課題を発見し、自立的に探究する姿勢を身につけるため、1学年から5学年に自主探究を実施する。またチーム内での役割を自覚し、協調性を持って仕事に取り組む姿勢を身につけるため、各種の実験・実習や創成科目、卒業研究などにおいて、協働で取り組む内容を設ける。

CP 5. 地域の課題に関心を深めるため、地域志向科目を設ける。また地域の課題をテーマとする自主探究や卒業研究などを奨励する。

CP 6. 討議発表力、異文化理解力を身につけるためにコミュニケーション、英語コミュニケーションなどの科目を開講するとともに、短期海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、全学年で自主探究のポスター発表を実施するほか卒業研究の英語発表を奨励する。

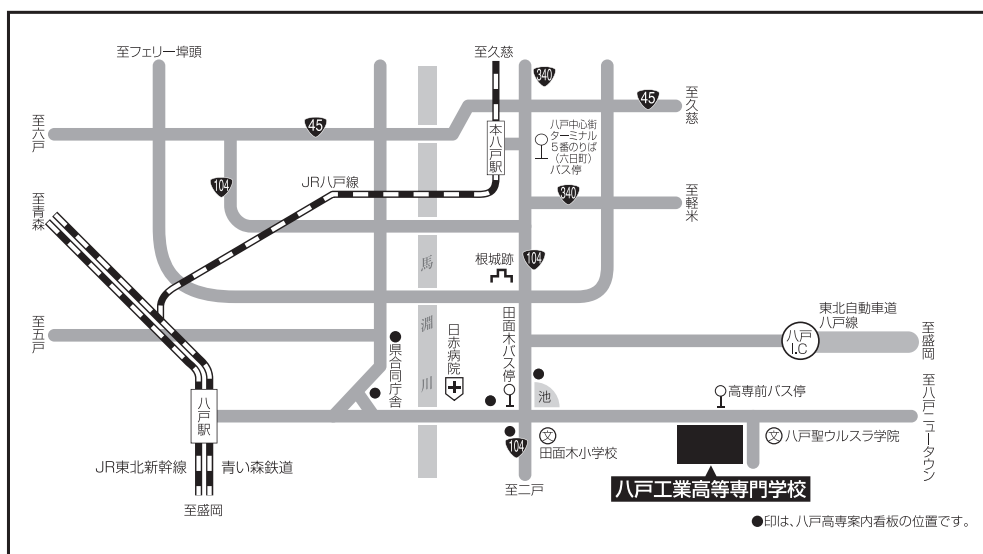
試 験 場 案 内

★ 八戸駅から高専まで（東北新幹線八戸駅から高専まで2.8km）

- タクシー（約5分）
- 南部バス（約10分）
 - ・八戸ニュータウン・聖ウルスラ学院線（八戸ニュータウン行）高専前下車
 - ・八戸駅・聖ウルスラ学院線（聖ウルスラ学院行）高専前下車
- 南部バス／市営バス共同運行
 - ・八戸駅線（司法センター前・田面木・日赤病院経由）（中心街方面行）田面木下車（徒歩10分）

★ 八戸市内六日町から高専まで（J R 八戸線 本八戸駅から高専まで約5 km）

- タクシー（約20分）
- 市営バス（約30分）
 - ・八戸駅（司法センター・日赤病院経由）田面木下車（徒歩10分）
 - ・八戸聖ウルスラ学院線（聖ウルスラ学院行）高専前下車
- 南部バス（約30分）
 - ・八戸駅線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）
 - ・一日市線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）
 - ・三戸方面線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）



令和4年度編入学者選抜試験
編入学願書

八戸工業高等専門学校

志願者	志望コース	コース		受験番号	※	
	受験専門科目	(A)	(B)			
	フリガナ					男・女
	氏名	平成 年 月 日生				
	現住所					
		(〒)	TEL ()	-		
	履歴	年 月	立	中学校卒業	※	
		年 月			※	
		年 月			※	
		年 月			※	
年 月				※		
在籍(出身)高等学校	学校名	立 高等学校 科				
	所在地	平成・令和 年 月 卒業見込・卒業				
		(〒)	TEL ()	-		
保護者	氏名				志願者との続柄	
	現住所	(〒) TEL () -				

(注)裏面の「記入上の注意」を参照してください。

令和4年度編入学者選抜試験
写真票

八戸工業高等専門学校

受験番号	※	
志望コース	コ ー ス	
フリガナ		男・女
氏名	平成 年 月 日生	
在籍(出身)高等学校		
写真貼付 令和3年7月以降に撮影した正面向き、上半身、脱帽、縦6cm×横4.5cmの大きさのものを貼付してください。		

(注) 1 ※欄は記入しないでください。
2 該当箇所は○で囲んでください。

令和4年度編入学者選抜試験
受験票

八戸工業高等専門学校

受験番号	※	
志望コース	コ ー ス	
受験専門科目	(A)	(B)
フリガナ		男・女
氏名	平成 年 月 日生	
在籍(出身)高等学校		

学力試験(口頭試問)

10月1日(金) 13:00～ 試験方法説明
13:10～ 試験開始

(注) 1 ※欄は記入しないでください。
2 該当箇所は○で囲んでください。
3 裏面の「受験者心得」をよく読んでおいてください。

受 験 者 心 得

1. 受験者は、試験当日12時50分までに指定された控室に集合してください。上履きは不要です。
2. 受験の際は、受験票を面接担当者に提出してください。
3. 試験は一人ずつ行います。
4. 試験の順番まで控室で待機してください。
5. 控室では、携帯電話やスマートフォン等は使用できません。

記入上の注意

- 1 ※欄は記入しないでください。
- 2 該当箇所は○で囲んでください。
- 3 志願票の氏名は必ず自署してください。
- 4 専門科目で(A)(B)があるコースについては、受験する方を選択してください。
- 5 コース名は略称の記載でかまいません。

コ ー ス 名		略 称
機械システムデザインコース	→	機械システム (M)
電気情報工学コース	→	電気情報 (E)
マテリアル・バイオ工学コース	→	マテリアル (C)
環境都市・建築デザインコース	→	都市建築 (Z)

令和 年 月 日

八戸工業高等専門学校長 殿

学 校 名

校 長 名

印

推 薦 書

下記の者は、貴校の教育に適し、かつ、入学の意志が強固な者と認められるので推薦します。

氏 名		※ 受験番号	
(推薦所見)			

(注) 推薦所見は、人物・能力・適性等具体的に記述してください。

【社会人特別選抜】

令和4年度八戸工業高等専門学校

編 入 学 願 書

志望コース	コース		受験番号	※
履修コース	履修コース			
ふりがな 氏 名			生年月日	昭和・平成 年 月 日生
			性 別	男 ・ 女
出 願 資 格	昭和・平成 年 月 高等学校 科 卒業			
本人が諸 通知を受 ける場所	(〒 —) (電話 — —) 住所			
上記以外の 連絡先	氏 名			
	住 所	(〒 —) (電話 — —)		
履 歴 書		年 月 日	事 項	
	学 歴	・ ・	中学校卒業	
		・ ・		
		・ ・		
		・ ・		
		・ ・		
		・ ・		
	職 歴	・ ・		
		・ ・		
		・ ・		
		・ ・		
		・ ・		
		・ ・		

記入上の注意

- ※欄は、記入しないでください。
- 氏名は、戸籍上の文字で正しく記入してください。

【社会人特別選抜】

令和4年度編入学社会人特別選抜

入学志願者写真票

八戸工業高等専門学校

志望コース	コース	受験番号
履修コース	履修コース	※
ふりがな		
氏名	昭和・平成 年 月 日生	
性別	男 ・ 女	
写真貼付 正面上半身脱帽のこと。 縦6cm×横4.5cm判 令和3年7月以降に撮影したもの。 写真の裏に氏名を明記してください。 全体をのり付けしてください。		

注意 該当事項を○で囲んでください。

※印欄は記入しないでください。

【社会人特別選抜】

令和4年度編入学社会人特別選抜

受験票

八戸工業高等専門学校

志望コース	コース	受験番号
履修コース	履修コース	※
ふりがな		
氏名	昭和・平成 年 月 日生	
性別	男 ・ 女	
試験場所 八戸工業高等専門学校		
試験日時		
時 間 \ 日	10月1日（金）	
10：00～11：00	小論文	
11：30～	面接	
当日は9時30分までに受験票を持参のうえ、 指定された控室に集合してください。		

受験番号

※

推 薦 書

令和 年 月 日

八戸工業高等専門学校長 殿

所在地：
機関・会社名：
所属 長

印

推薦者職名：
氏 名：

印

下記の者は、当機関（社）において勤務成績が優秀であり、貴校本科編入学者として
ふさわしい資質をもつ者と認め推薦します。

記

入学志願者氏名：_____

昭和

年

月

日

生

志 望 コ ー ス：_____ コース

平成

履 修 コ ー ス：_____ 履修コース

1 人 物	
2 在 職 中 に お け る 本 人 の 業 績	
3 本 人 の 身 分 に 対 し て 入 学 し た 場 合 の 措 置	

※印は記入しないでください。

令和4年度 八戸工業高等専門学校 編入学者社会人特別選抜
志 望 理 由 書

志望コース	コース	ふりがな 氏 名		受 験 番 号
履修コース	履修コース			※

※印は記入しないでください。

令和4年度 八戸工業高等専門学校 編入学者社会人特別選抜
業務内容調書

[illegible]

※印は記入しないでください。

令和4年度入学者選抜試験

入学検定料領収書・受付証明書貼付票

八戸工業高等専門学校

種 類	コ ー ス 名	氏 名
編入学		

※ 銀行の出納印のあるC票「入学検定料領収書・受付証明書」の裏面にのりをつけて貼り付けてください。

※ ゆうちょ銀行からの振込の場合は「振込依頼書（お客さま控）」の裏面にのりをつけて貼り付けてください。

入学検定料の納入について

- ◎ 入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合は、別紙の「入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点」をご参照ください。
- ◎ 入学検定料をゆうちょ銀行以外の銀行等から振り込む場合は、次のようにお願いします。
1. 入学検定料は、必ず下記の本校指定の「入学検定料振込依頼書」を利用ください。なお、振込の際は別途手数料が必要となります。
 2. 入学検定料の振り込みは、下記振込用紙のＡ票・Ｂ票・Ｃ票の「志願者」欄を記入のうえ、銀行等（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口にて振込み願います。
ただし、ＡＴＭからの振込はしないでください。
 3. Ｃ表の「入学検定料受付証明書」は、「入学検定料受付証明書貼付票」に貼付のうえ、願書受付期間内に本校に提出してください。
 4. 納入期間 令和３年８月１６日(月)～令和３年８月２７日(金)まで

本件に関する問い合わせ先：総務課財務係 TEL 0178-27-7228

A 票

入学検定料振込依頼書

八戸工業高等専門学校

ご依頼日			令和 年 月 日			電 信 扱						
振込先	青森銀行 八戸支店	預金 種目	普 通	口座 番号	2005038	入学検定料	¥	1	6	5	0	0
						振込手数料						
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ										
	氏 名	高専機構本部										
志願者	フリガナ											
	氏 名											
	住 所	(〒 -) (TEL - -)										

出 納 印

B 票

入学検定料振込通知書

八戸工業高等専門学校

依頼日		令和 年 月 日	
入学検定料		¥ 1 6 5 0 0	
振込先		青森銀行八戸支店	
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ	
	氏 名	高専機構本部	
志願者	フリガナ		
	氏 名		
住 所	(〒 -)		
	(TEL - -)		

出 納 印

C 票

入学検定料領収書・受付証明書

八戸工業高等専門学校

依頼日		令和 年 月 日	
入学検定料		¥ 1 6 5 0 0	
振込先		青森銀行八戸支店	
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ	
	氏 名	高専機構本部	
志願者	フリガナ		
	氏 名		
住 所	(〒 -)		
	(TEL - -)		

振込手数料				円
-------	--	--	--	---

出 納 印

※ 取扱金融機関へのお願い

1. 当日中に取扱いくさるようお願いいたします。
2. 出納印は、Ａ・Ｂ・Ｃ票への３ヵ所にもれなく押印してください。
3. Ｂ票は、取りまとめ店を経由して八戸工業高等専門学校へ通知願います。
4. Ｃ票は、必ず志願者(振込人)にお返しください。

(取 扱 店 保 管)

(取扱店→取りまとめ店(青森銀行八戸支店)→八戸高専)

(入学検定料受付証明書貼付用)

入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込はできません。
ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入
いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振込依頼書（お客さま控）」を受領してください。
- 4) 「振込依頼書（お客さま控）」は「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に添付のうえ、願書
受付期間内に本校に提出してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

8000034		振込依頼書（兼振替払出請求書）[電信扱い]		「ゆうちょ銀行」以外の銀行宛	
※本枠からはみ出さないようにボールペンではっきりとご記入ください。 ※□枠欄は、該当の項目にレ印をつけてください。 ▲ 振込口座の場合は通帳に記載のある方のみご記入ください。					
ご依頼日		年 月 日		※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。 ※お受取人負担のお取扱いはできません。	
金融機関名	☐ 銀行 ☐ 信金 ☐ 信組 ☐ 農協 ☐ その他		支店名	支店	
お受取人	預金種目	金額		※金額の頭に「円」をご記入ください。	
	☐ 1 普通 (総合) ☐ 2 当座 ☐ 3 貯蓄 ☐ 4 定期 ☐ 5 その他 ()	金額		金額	
おなまえ	フリガナ		振込金額		5万円未満 5万円以上
	様		料金 (消費税込)		648円 864円
おとこ	郵便番号 ()		フリガナ		
	フリガナ		おなまえ		
	フリガナ		様		
ご依頼人	日中ご連絡先電話番号	通知番号		※お受取人様に通知を希望される番号 (最大10桁) がある場合 (お名前前に数字を入れる場合) に左詰めでご記入ください。	
	記号	番号 (左詰めでご記入ください)		お届け印	
払出口座番号	郵便番号 ()		※口座名義人がご依頼人の場合、ご記入は不要です。		
払出口座名義人 (代理人)	おとこ		おなまえ		
	おなまえ		様		
科目	取扱年月日	取扱時間	取扱店番号	振込先	振込額
請求種別	取扱店番号	振込先	振込額	振込先	振込額
払出口座番号	振込先	振込額	振込先	振込額	振込額
振込金額	振込料金	振込金額	振込金額	振込金額	振込金額
合計金額	合計金額	合計金額	合計金額	合計金額	合計金額
ゆうちょ銀行					